

地域包括支援センターは、日々地域の皆様の相談事や課題に取り組んでいます。

一年間を振り返り、地域の課題を職員で話し合い、地域課題の種としてまとめました。

①一人暮らしの高齢者支援について、緊急連絡先の確保、入院や入所等保証人の確保が難しい。

↓医療機関への入院調整と緊急連絡先の確保を行いました。

②一人暮らしの高齢者支援について、住宅転居調整では保証人などの確保が難しい。

↓身寄りのない方、保証人のいない方の施設探しなどを協力しました。

③認知症高齢者が地域で安心して生活できるため家族、地域、支援者との調整が必要。

↓身近な地域で認知症当事者やご家族が地域の方と交流できるサロン等の調整を行いました。

地域課題の種への取り組み



④親世代である高齢者の支援に加え、子ども世代の支援が必要な対象者が増えている。

↓医療機関や障害委託相談事業所との連携を図り支援を行いました。

⑤若年者の相談については、病院受診や障害の診断がついていないことがある。

↓医療へつながっていない方は、受診同行支援を提案、経済的課題の解決の為就労支援機関へつながっています。

⑥地域住民との交流が少ない高齢者が多い

↓地域の集まり処との連携、集まり処の立ち上げ支援を行っています。

⑦地域の通いの場への移動手段が少ない

↓移動手段確保のため、自然体で考えることを提案しています。循環バスが利用しやすくなる働きかけ、送迎車両の確保や送迎ボランティアの確保などを考えていきたいと思えます。

令和7年度も地域の皆様、関係機関の皆様と地域課題を検討し、「健康と生きがいのある元気なまちづくり」を進めていきます。

子育てとの両立を目指します！

～プランナー並川良美さん復職～

プランナーの並川良美さんが、出産・育児休暇を終えて復職します。令和5年3月24日に、元気な男の子を出産し、2年間の育児休暇を経て4月9日から出勤します。はじめての子育てで、忙しい毎日を送っている並川さんですが、復職に向けて改正になった書式を取り寄せ事前に確認をするなど、子育てと仕事の両立に向けた準備も整っているようです。



かずは君も2歳になりました！
初心に戻って頑張りますので、地域の皆様、よろしくお祈いします。



3/27（水）第三者委員会を開催しました。（右から）島袋由香会長、中石直木顧問、山内盛経さん

沖縄銀行山内支店にてパネル展開催

3/18（火）～4/1（火）沖縄銀行山内支店にて包括および認知症パネル展を開催しました。





生活支援コーディネーター
城間清美のお宝発見！！

久保田自主防災・防犯組織 防災訓練！

3/22（日）久保田自主防災・防犯組織による防災訓練（久保田公民館にて資機材の説明→島袋小学校へ避難→島袋小学校の備蓄倉庫見学→体育館での避難所開設訓練）が行われました。避難所開設訓練は市内初との事でした。子ども達の参加もあり、参加者からは「この子ども達のためにこのような訓練を繰り返し、防災意識を高めることが大事という防災課の仲宗根亮さんの言葉に訓練の意義を再認識した」との感想が聞かれました。



島袋小学校まで避難



備蓄倉庫見学



避難所設営訓練

「スマイルサロン」でスマホ講座



3/26（水）県営山里高層住宅集会所での高齢者サロン「スマイルサロン」にてソフトバンク株式会社によるスマホ講座が開催されました。参加者 20 名。「オンライン通いの場」アプリのフレイル予防の紹介、スマホの詐欺対策（詐欺 SMS への注意）などを学びました。アプリを使って脳を鍛えるゲームや体操動画を見ながら体操も行いました。 ※SMS（ショートメッセージサービス）とは、携帯電話番号宛に文字メッセージを送受信できるサービスです。



脳を鍛えるゲームを体験中

山里自治会福祉連絡会『循環バスツアー』

3/12（水）の山里自治会福祉連絡会は市内循環バスへの乗車体験にて、利用状況を知り、活用方法を考える事を目的に、循環バスツアーが行われました。コザ運動公園集合、市内循環バス西部ルートへ乗車。バスの中や昼食時には参加者同士楽しく交流ができ、「循環バスを利用する人が意外と多かった。若い人もいた。」「今度は乗り換えて、もっと遠くに行きたい。」「免許返納後の足としてもっと活用できたらいいのに。」などの気づきがありました。



山内自治会福祉連絡会『福祉施設視察』

3/27（木）の山内自治会福祉連絡会は福祉施設視察へ。地域の事業所の把握と関係づくりのために、山内地区にある事業所3か所（放課後等デイサービス「しあわせの駅」・障がい福祉サービス事業所「はちゃぐみ」・自立プラザ「希織」）と、沖縄市池原にある有料老人ホーム「爽やかな風沖縄」を見学しました。各事業所の理念と活動が素晴らしく、学びがいっぱい、感動の時間でした。



市内 4 か所の福祉施設をバスで巡りました！

介護予防がんじゅうポイントをごぞんじですか？

市内在住の65歳以上の方が登録後に下記の活動を行うと1回の活動につき1ポイントが付与され、貯まったポイントを換金できる制度です。（1ポイント100円相当。年度内限度額5000円。）

- 主な活動**①高齢者宅での活動：話し相手・ゴミ出し・通いの場へのお誘いなど
②通いの場や介護事業所での活動：歌や手芸などの指導・イベントでの余興（踊り、楽器演奏等）・花壇や庭の手入れなど③子どもの居場所（子ども食堂）などでのお手伝い、話し相手、見守りなど

沖縄市包括支援センターは高齢者の総合相談、介護予防、権利擁護などさまざまな面からみなさんを応援しています。

どこに相談してよいか分からない心配ごとや悩みなどは、まず地域包括支援センターにご相談ください。



発行：沖縄市地域包括支援センター 西部南
沖縄市山内1丁目3-25（1F）
☎：098-982-2020 fax：098-982-2021
編集：城間清美・石垣憲作・照喜名重寿